



# 前を向き、 よい未来をつくる年に

南魚沼市議会議長 塩谷 寿雄

新年おめでとうございます。市民のみなさまへ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

私は、昨年11月の臨時議会において、第11代議長に就任いたしました。その責任の重さを認識するとともに、南魚沼市の発展のため全力を傾注してまいります。

昨年の新型コロナウイルス感染症対策では、市民のみなさまからワクチン接種に対し、ご理解とご協力を賜り、また一人一人が感染症予防対策に取り組んでいただきましたことに、感謝申し上げます。また、医療従事者のみなさまをはじめ、ウイルスに立ち向かうみなさまのご尽力に対し、深く敬意を表します。早く新薬が普及し、感染状況や対策がインフルエンザや普通の風邪と同様になる日が来ることを願っております。そして、再び国内はもとより海外など大勢の方から当市にお越しいただき、活気にあふれることを期待しております。

市の新型コロナウイルス対策では、昨年度から議会の各会派代表と市執行部で計20回に及ぶ会議を行い、市内の個人・事業者に対して、11月末時点で約18億円を超える対策費を投じています。現在感染状況は落ち着きつつありますが、いつか当市においても爆発的に感染者が増え

ることがあるかもしれません。新型コロナウイルスで経済的な影響を受けている間は引き続き対策を打つべく、市にはもちろんですが、国、県に対してももちろんですが、強く訴えてまいります。

明るい話題といましては、株式会社アルプス技研の創業者である松井利夫様（当市出身）から総額8億円ものご寄附をいただき、人材育成及びリゾートオフィス・田園都市構想松井基金を創設いたしました。昨年度は、当市の事業家5人が松井基金を原資とするチャレンジ支援事業補助金を活用して、事業の実現に向けて一生懸命に取り組んでいます。今年度も新たに5人が選ばれる予定であり、今後に大いに期待するものであります。

好調なのがふるさと納税です。一昨年度は約17億円、昨年度は約2倍の33億9千万円、今年度はその1.3倍の40億円にも上る勢いです。南魚沼市を応援して寄附してくださるみなさま、ふるさと納税を盛り上げてくださる市民のみなさまに大変感謝申し上げます。ご寄附のコースでは、「市長おまかせコース」が最も多いと聞いています。市がめざす将来像「自然・人・産業の和で築く安心のまち」の実現のために活用されるよう議会としても活発に議論し

てまいります。

市には、新ごみ処理施設建設や地盤沈下対策、市立病院群の在り方、医療体制など、大きな課題も山積しています。どれもすぐに解決することは難しく、調査や予算が必要なものであります。市民サービスが低下することのないように南魚沼市議会一同、市民のみなさまのご期待に沿えるよう一生懸命取り組んでまいります。

本年がみなさまにとって素晴らしい一年となることを心より祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。